

響

ひびき

浄土真宗・お東
真宗大谷派 どうじょうじ
道誠寺報
No.81
2025年2月20日発行



ねてもさめてもへだてなく
南無阿弥陀仏をとなうべし
（『正像末和讃』）

画／百田 稔

2025 道誠寺 主要行事日程表

春季彼岸会法要	3月20日(木)14時
子ども花まつり	4月6日(日)14時
盂蘭盆会法要	8月15日(金)15時
秋季彼岸会法要	9月25日(木)14時
道誠寺 報恩講	11月頃 未定



春秋彼岸・盂蘭盆会について

お寺の本堂では、参詣された皆さまと法要をご一緒にお勤めしています。

ご参詣のご都合がつかず、御布施を現金書留や銀行振込みにてお送りくださる方は、亡き故人さまの法名、俗名をお知らせください。

振込先は、他銀行からの振込みの場合
 ゆうちょ銀行 宗教法人 道誠寺
 店名 ○五八 ゼロゴハチ
 普通預金 5129219
 同じゆうちょ銀行からの場合
 記号 10540-2
 普通預金 51292191

俗名	法名	俗名	法名
<input type="checkbox"/>	釋尼	<input type="radio"/>	釋
<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	〇
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	〇
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	〇



ご自宅や本堂での戸別の参勤も承っていますので、ご依頼ください。



仏法をともに学びませんか。
 下記のとおり、さまざまな行事が
 開かれています。まずは道誠寺
 の同朋会へどうぞ。
 道誠寺の行事は下の表の黄色
 の部分をご覧ください。

月	日時	行事名	開催場所
3月	6日(木)13時30分	門徒会春季法話会	市川市即隨寺
	13日(木)14時	二木会	道誠寺
	20日(木)14時	春季彼岸会法要	道誠寺
4月	6日(日)14時	子ども花まつり	道誠寺
	14(月)～18日(金)	東京教区慶讃法要	真宗会館
	24日(木)14時	同朋会	道誠寺
	30日(水)13時30分	親鸞教室	オンライン Zoom
5月	8日(木)14時	二木会	道誠寺
	22日(木)14時	同朋会	道誠寺
	29日(木)13時30分	親鸞教室	松戸市西蓮寺
6月	4(水)～5日(木)	団体参拝旅行	三重県一泊
	12日(木)14時	同朋会	道誠寺
7月	10日(木)14時	おみがき会	道誠寺
	24日(木)14時	同朋会	道誠寺
8月	15日(金)15時	盂蘭盆会法要	道誠寺

上記日程について、日程変更となる場合があります。
 開催場所が道誠寺以外の場所がありますので、お間違えのない
 よう、確認をお願いいたします。
 慶讃法要(当寺報 4頁参照)、親鸞教室、団体参拝旅行など
 興味のある方は、別途詳細をお送りします。

宗祖親鸞聖人
御誕生850年・立教開宗800年

東京教区
ぎょう さん ほう よう
慶讃法要

慶讃テーマ

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

2025年
4月14日(月)~18日(金)

東本願寺「真宗会館」
(東京都練馬区谷原1-3-7)

告知①

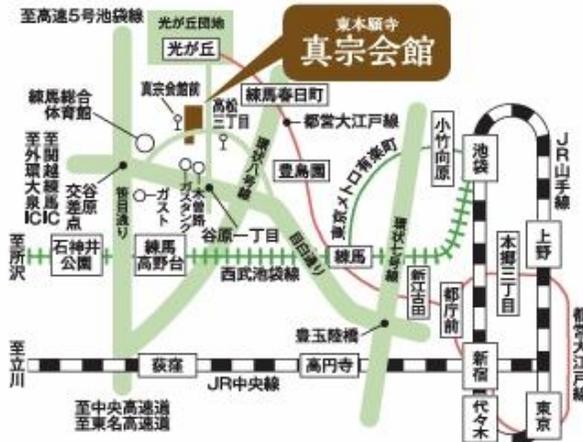
東京都練馬区にある真宗会館にて
4日間開催される
法要です。



法要期間の詳細は
東京教区 慶讃法要
特設サイト
をご覧ください

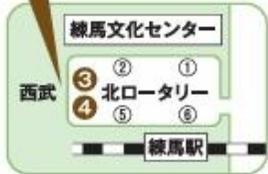
公共交通機関のご案内

- 西武池袋線・都営大江戸線「練馬駅」(北口バスロータリーより西武バス練馬42(成増町行) または 練馬48(大泉学園北口行) 15分「高松三丁目」から徒歩1分
- 都営大江戸線「光が丘駅」A1出口からタクシー5分または徒歩約20分
- 西武池袋線「練馬高野台駅」(北口)からタクシー5分または徒歩約17分



無料送迎バス時刻表

③④乗り場付近に停留します



		4/14 (月)	4/15 (火)	4/16 (水)	4/17 (木)	4/18 (金)
練馬駅	真宗会館	8:30	8:30	8:30	8:30	8:30
		11:20	9:30	9:20	9:20	9:20
		12:10		10:10	10:10	10:10
真宗会館	練馬駅	15:40	16:30	17:00	17:00	15:40
		17:00	17:30	18:00	18:00	16:30
				19:00	19:00	

告知②

どなたでも自宅で仏教が学べるオンライン講座のご案内です。

インターネットのZoomでパソコンやタブレットを使って受講できます。

詳細は下記のサイトをご覧ください。

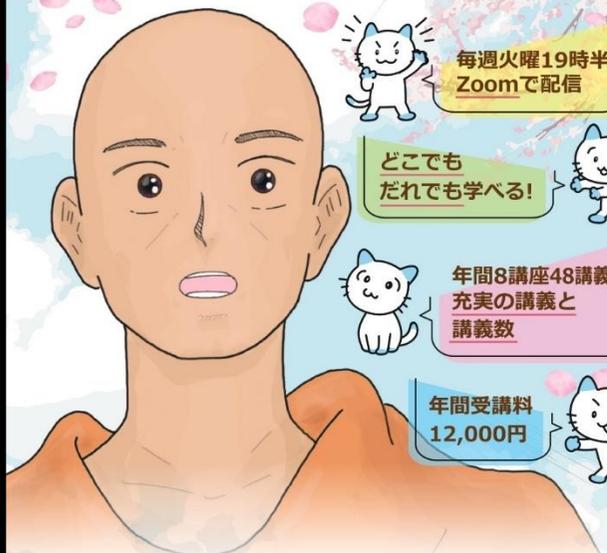


親鸞仏教オンライン学舎

親鸞仏教 オンライン学舎

真宗大谷派所属の
講師陣による
基礎重視のオンライン講座

二〇二五年四月開講



毎週火曜19時半
Zoomで配信

どこでも
だれでも学べる!



年間8講座48講義
充実の講義と
講義数

年間受講料
12,000円



2025年度 お申込み受付中!

仏教や浄土真宗の基礎を、初歩から
丁寧に学べるオンライン講義、それが
「親鸞仏教オンライン学舎」です!



オンライン学舎は
3年目を迎えました!

親鸞仏教 2025年度受付中 オンライン学舎

講義

前期(2025年4月~9月)・後期(2025年10月~2026年3月)
毎週火曜日19時半開始

配信

Zoom 見逃し配信あり(2026年3月31日まで見逃し配信視聴可能)
※途中からの受講も可能です

受講料

12,000円 ※2025年度(前期・後期)の受講料です



前期講義 2025年4月~9月



市野 智行(同朋大学准教授)
『観無量寿経』の世界
—「機の真実」の救済とは?

①4月8日 ②5月6日 ③6月3日
④7月1日 ⑤8月5日 ⑥9月2日



中山 善雄
(真宗大谷派浄敬寺衆徒)
『浄土論』の課題

①4月15日 ②5月13日 ③6月10日
④7月8日 ⑤8月12日 ⑥9月9日



瓜生 崇(真宗大谷派玄照寺住職)
3年で読む『教行信証』(1)
「あらわれる浄土の真実」(序・教巻)

①4月22日 ②5月20日 ③6月17日
④7月22日 ⑤8月19日 ⑥9月16日



織田 顕祐(大谷大学名誉教授)
大乘仏教入門

①4月29日 ②5月29日* ③6月24日
④7月15日 ⑤8月26日 ⑥9月30日
※⑤5月29日のみ木曜日の開催となります

愛知県名古屋市
の道誠寺の若院で
ある市野智行先生
より『観無量寿経』
について学べます。
興味のある方は、
ぜひ受講ください。

行事報告



← 9月19日
秋彼岸会法要

↓ 10月28日
同朋会(法話会)

同朋会(どうぼうかい)
は定例法話会です。
月に1回木曜日に開
催しています。
「正信偈」をお勤めし、
お念仏の教えについて
学んでいます。



令和6年道誠寺
報恩講(ほうおんこう)
11月7日 巖修

報恩講は宗祖親鸞聖人のご法事
です。私たち真宗門徒にとって一番
大切にされている仏事です。道誠寺
では11月にお勤めしていますので、
日程が決まり次第、お知らせします。





報恩講 法話「い、ちねんほつき一念発起」(一部抜粋) 百々海真師

道誠寺様では同朋会という定例法話会が先月開かれたそうで、その座談会で挙がったご門徒方のご発言や疑問などを市野住職から教えていただきました。

ある方は「日めぐりカレンダー」に書かれてある池田勇諦先生の法語をずっと考えさせられている」と、おっしゃっているとのことでした。そのカレンダーは、今年の報恩講の参詣記念品でしたから、皆さんもご覧になっているでしょう。いかがですか、たとえ一語でも印象に残っている法語はありますか。

私も去年の報恩講での法話では、そのカレンダーの中の「思いどおりになっても 苦しみや悩みはなくなるならない」という法語を取り上げました。「思いどおりにならないから、苦しい」ならば、わかりますが、「思いどおりになっても」ですから、私に刺さったのです。一年経ちますが、印象に残っている法語はありますか。

仏法聴聞とは実は、自分に刺さる、引っかかりを覚える言葉との出遇いなのです。法話鑑賞ではないので、「いいお話ですね」、「長時間話すのはタイヘンでしょう」という感想ではねえ。

法語の言葉でも「それは私にとってどういうことか」を生活の中で確かめていくことが大切なのです。むしろわからないこと、気にかかること、この私に何を言わんとしているかを考えることが聞法なのです。

話を戻しますと、そのご門徒は「癒しの路から自覚の道へ」という法語が引っかけたそうです。その法語が「この私に何を言わんとしているかを知りたい」ということでしょう。

ちなみに「癒し」は心境の変化、気分がホッとすることですね。「路」と「道」がありますが、仏教では「路」は小路、狭い道であり、「道」は誰もが歩める公開された大道をあらわします。だから「仏路」ではなく、「仏道」といいますし、清澤満之先生は「絶対他力の大道」といわれます。「正信偈」でも、「道」と「路」が使い分けられています。

顕示難行陸路苦 信樂易行水道楽

(赤本一六頁)

「難行陸路」とは、「私からの仏道」です。「私が

成仏という目標に向かって、行を積んで近づいていく」構造ですから、ごく一部の宗教的エリートしか達することができないというのです。だから路地の「路」、小路なのです。

ところが、「易行水道」は本願の仏道です。「仏からの仏道」、本願の船が運んでくれる無条件の仏道ですから「道」、大道なのです。

「癒しの路から 自覚の道へ」ということは、一時的にホッとするとか、心が安定する癒しの路を否定しているわけではありませんが、「仏道は癒しの路ではないということが、ハッキリされていますか」との問いかけでしょう。ありがたい気分になること、そんなことにはとどまらない。心境の変化でなく、苦悩の根本原因に目覚める、その根本解決の道が仏道であるとの教示でしょう。

何やらわからないけど有難いというもんな、

仏法ではないわい

という北陸の念仏者の仰せは、念仏が与える救いとは何なのか、何でないのかがハッキリ見分けられて

いる深い一言です。生涯を通して折々に、「一念発起」、一瞬の目覚めを賜り続ける、南無阿弥陀仏によび覚まされ続けていくのが本願の仏道だということでしょう。

そして、カレンダーの「**窮鼠のほほん**」という言葉が自分自身を言い当てていると感じられたそうです。「窮鼠」とは追い詰められた、絶体絶命状態のネズミです。けれども、待ったなしの身を生きていることも知らず、「のほほん」と眠り込んでいる。「あ、私のことだ！」と聞こえたのでしょうか。その方にとっては、言葉を超えて、よび覚ます声として届いたのですね。

ご住職がこのご門徒のご発言を、ご本人に了解を得て私にメールで送ってくださいましたので、そのままの声を紹介します。

「**窮鼠のほほん**」、この言葉は私のことを言い当てている言葉で、現在もつとも不安に感じていることは、「あと何年生きるのか、その生きる間、何を私自身やるべきなのか」。そのことを考えると、焦

燥感ばかり感じて、夜も眠れなくなる。

いやあ、実に素晴らしいですね。「おめでとうございます」と申し上げたい。眠れないほどに悩んでおられるのです。「窮鼠のほほん」、それは私のことであつたと聞こえた時、仏道が始まったのでしよう。その出発が「一念」です。ありがたい気分になるどころか、「このままでは…」との不安が湧いたのでしよう。

善導大師は「教えの言葉とは、まるで鏡である」とおっしゃっていますが、現在の私をハッキリと映し出すのが教えの言葉なのです。

「窮鼠猫を噛む」ともいますが、ある念仏者の歌を思い出しました。

ありがたや 猫噛む力 たまわりぬ

「仏法聴聞によって、窮鼠が窮鼠でなくなるのではない。窮鼠が窮鼠のままに立ち上がる力を、念仏から賜っています」と詠われたのです。窮鼠の分限を尽くしていく出発が開かれた方の如来への応答、報恩の営みです。

また別のあるご門徒は、このように言われていたとも知らせてくださいました。

視野が狭く目も見えなくなり、耳も聞こえなくなり、物忘れもひどくなっていき、身体のうちらちらが不自由になっていくなか、口から出てくるのは愚痴ばかり。連れ合いも同じような状況で、私の意見が通らなくなると、ひどい言動が出てしまつて、来年結婚六十年にもなるのに、ますますうまくいかない。そんななか、教えを聞くとはどういうことなのか。反省することなのか。自覚という言葉があるが、自覚して、その思いどおりにならない現実を我慢して受け入れるということが救いなのか。

赤裸々にご自身の生活を吐露してくださっています。むしろありがたくない現実こそ、仏法なのでしよう。ですが、「現実を我慢して受け入れる」なんて、とてもできませんね。いつかは堪忍袋の緒が切れますよ。仏法を聞いたらケンカもせず、腹も立たなくなり、不安も解消してどんなことにも耐えてい

ける者になるという、そういう夢が破られるのが、仏法聴聞です。万事縁次第、腹立つ縁が来れば腹が立つ。嬉しいことにあえば、ニッコリする。愚痴もやまない。だからこそ、南無阿弥陀仏。もうこれしかないのです。

一つ思い起こすのは、北海道旭川の井田ツルさんというご婦人のことです。十数年前、本山発行の『同朋新聞』の巻頭にインタビュー記事が掲載されました。ご息を交通事故で亡くされた厳しい出来事がきっかけで、仏法を聞き始めた方です。

林暁宇先生とのご縁があった方で、林先生のご紹介で、十年以上前に井田さんのお住まいをお訪ねしたことがあります。当時は八十代半ば、お連れ合いとお二人で私の訪問を待っていてくれました。初めてお会いした時、井田ツルさんが言われたことを思い出しました。

「この年齢になつても、お父さん（※ご主人のこと）と毎日、毎日、喧嘩ばかりしています。でもね、そのおかげで南無阿弥陀仏に出遇うご縁を頂

戴しています」

何でもない一言のようですが、念仏申す生活の一面を教えてください、とてつもなく深い仰せです。念仏すれば立派な人格になるわけではないのですよ。いや、人格向上の手段として念仏を使うのは罪なのですよ。

親鸞聖人はお手紙の中で、

わがみをたのみ、わがはからいのところをもつて、身・口・意のみだれごころをつくり、めでとうしなして、浄土へ往生せんとおもうを、自力と申すなり
〔『聖典』五九四頁〕

〈意識…自分を買いかぶり、行を積むことで、立派な者になって浄土に生れるのだという仏教理解を「自力」というのです〉
と言われています。自分を見誤っている自己過信です。

真宗仏教は、始末がつかないままに南無阿弥陀仏。いよいよ本願を仰ぐという一念が私の上に発起する道です。いわゆる道徳談義ではないし、心境の

変化でもない。心境は縁次第に動きます。

だから蓮如上人は、

衆生のところを、そのままおきて

〔『蓮如上人御一代記聞書』第六四条〕

とおっしゃっています。「乱れた心は、それはそれとして、南無阿弥陀仏」、仏法は自分の心を自分で改造する心境改善や人格向上の路ではないのです。

まさに「癒しの路から 自覚の道へ」という転換なのです。「神仏にすがって心の安らぎを得るようなことではなかった」との目覚めが聞法する上で必要であり、その目覚めこそが本願の仏道に立たしめられる時なのです。



説法師子吼される
とどみしん
百々海真先生
東京都港区
了善寺住職です

11月27日28日京都へ

おおたにそびょう
 京都・大谷祖廟へ、道誠寺
 でお預かりしていたお三方のご
 門徒さんのご遺骨を納骨してき
 ました。

事務所で納骨の手続きをし、
 本堂で読経いただいた後に、
 御廟で納骨します。御廟前でも
 読経していただきます。



PCやスマホで検索

大谷祖廟



本堂 →

← 御廟

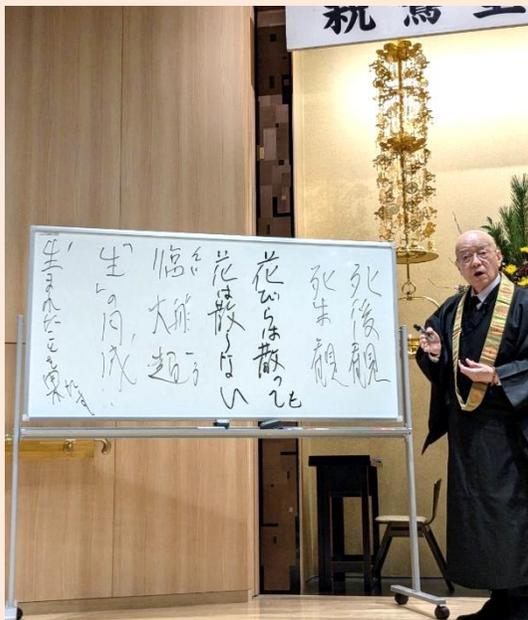


京都市東山区
 円山町477



真宗本廟
京都東本願寺
報恩講最終日
結願日中法要
(御満座)

親鸞聖人
讃仰講演会
池田勇諦師





令和7年（2025年）度の年回忌案内

回忌	命終された年
1周忌	2024年(令和6年)
3回忌	2023年(令和5年)
7回忌	2019年(平成31年/令和元年)
13回忌	2013年(平成25年)
17回忌	2009年(平成21年)
23回忌	2003年(平成15年)
27回忌	1999年(平成11年)
33回忌	1993年(平成5年)
50回忌	1976年(昭和51年)

○年忌法要(ご法事)について

お寺の本堂、ご自宅のお内仏前、(墓前)でお勤めします。

日程や場所がお決まりになられたら、お寺へご連絡ください。

予約をされた法要日程が近くなりましたら、法要日時や場所など、あらためてお寺までご確認をお願いいたします。

わからないことなどありましたら、お気軽にお問い合わせください。

○お葬式について

最近、お葬式の事前相談が増えております。葬儀の喪主を経験することは一生に何度もないことです。「何をしたら・・・」という方もおられましょう。その際は、お寺にご相談ください。ご要望等をお聞きした上で、地域の葬儀社の紹介や、その後の段取り等、葬儀全般にわたってサポートをさせていただきます。

真宗大谷派 ^{どうじょうじ} 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野

1-26-31

TEL:047-337-5305

URL:

<https://dojyoji.com>

メールアドレス

ichikawadojoi

@gmail.com

住職 釋光生

副住職 釋潤生

前住職 釋慈敬

